

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場会社名 株式会社 堀場製作所
 コード番号 6856 URL <http://www.horiba.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 堀場 厚
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 佐藤 文俊
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 平成24年8月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

上場取引所 東大

TEL 075-313-8121

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	56,955	△5.1	5,307	△22.2	5,079	△25.4	3,049	△28.7
23年12月期第2四半期	60,031	8.9	6,825	48.2	6,805	46.8	4,277	42.3

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 3,067百万円 (△40.7%) 23年12月期第2四半期 5,174百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	72.10	71.88
23年12月期第2四半期	101.14	100.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	142,617	92,277	64.5
23年12月期	144,649	90,460	62.4

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 91,992百万円 23年12月期 90,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	9.00	—	31.00	40.00
24年12月期	—	15.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	28.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年1月26日に創立60周年を迎えるため、平成24年12月末の株主様に対して、1株当たり10円の記念配当を実施する予定です。このため、平成24年12月期の期末配当金は、普通配当18円、記念配当10円の合計28円の予想としています。

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	△2.8	12,000	△19.5	11,300	△22.7	7,000	△19.2	165.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。
詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	42,532,752 株	23年12月期	42,532,752 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	235,583 株	23年12月期	238,083 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	42,297,128 株	23年12月期2Q	42,292,178 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) セグメント情報等	12
4. 補足情報	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(詳細は、14～17ページ「平成24年12月期 第2四半期決算概要」をご参照ください。)

当第2四半期連結累計期間における我が国経済をみますと、円高基調により厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景に緩やかに回復しました。一方、世界経済については、欧州債務問題の影響が広がり、欧米を中心に減速感が広がっており、弱い動きとなりました。

この間、為替相場をみますと、1～6月半年間の平均為替レートは1米ドル79.77円、1ユーロは103.48円と、前年同期に比べ、米ドルは3%、ユーロは11%のそれぞれ円高になりました。

このような状況のもと、当社グループでは、自動車産業の設備投資や研究開発投資が回復してきたことにより自動車計測システム機器部門の販売が増加しました。一方、シリコン半導体や太陽電池、LED（発光ダイオード）メーカーの設備投資減少により半導体システム機器部門の販売が減少したほか、円高などにより医用システム機器部門や科学システム機器部門において海外売上高が減少しました。この結果、売上高は56,955百万円と前年同期比5.1%の減収となりました。

利益面では、環境・プロセスシステム機器部門で増益となりましたが、半導体システム機器部門の販売減の影響が大きく、減益となりました。その結果、営業利益は5,307百万円と同22.2%の減益、経常利益は5,079百万円と同25.4%の減益、四半期純利益は3,049百万円と同28.7%の減益となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

(自動車計測システム機器部門)

自動車産業の設備投資や研究開発投資の回復により、日本やアジアでの販売は堅調に推移しました。一方、円高による海外向け案件の収益性の低下や、MCT事業の販売比率増加による製品構成の変化、運行管理システムの新製品開発費用の増加による一時的な収益性の悪化などにより、前年同期比で減益となりました。

この結果、売上高は18,575百万円と前年同期比8.5%の増収、営業利益は734百万円と同10.1%の減益となりました。

(環境・プロセスシステム機器部門)

東日本大震災後に需要が拡大した煙道排ガス分析装置や環境放射線測定器の販売が第1四半期までは堅調に推移し、大気汚染監視用分析装置なども国内外において底堅く推移しました。

この結果、売上高は7,108百万円と前年同期比13.5%の増収、営業利益は1,021百万円と同54.8%の増益となりました。

(医用システム機器部門)

アジアでの血球計数装置の販売は堅調に推移したものの、円高による売上高の目減りや、欧州における経済環境の悪化により、欧米での販売は減少しました。

この結果、売上高は11,041百万円と前年同期比7.9%の減収、営業利益は1,399百万円と同23.3%の減益となりました。

(半導体システム機器部門)

昨年の第2四半期まで好調であったLEDや半導体製造装置メーカーの生産高が大幅に減少したことにより、マスフローコントローラーを中心に販売が減少しました。

この結果、売上高は10,415百万円と前年同期比28.0%の減収、営業利益は1,934百万円と同41.3%の減益となりました。

(科学システム機器部門)

国内においてpHメーターの新製品や光学分析装置の販売が底堅く推移しましたが、海外では、為替の円高推移や欧米での政府予算削減の影響を受け販売が減少しました。

この結果、売上高は9,813百万円と前年同期比3.8%の減収、営業利益は218百万円と同5.1%の減益となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ2,031百万円減少し、142,617百万円となりました。現金及び預金が4,487百万円、仕掛品が1,148百万円、建物及び構築物が999百万円それぞれ増加したものの、受取手形及び売掛金が7,920百万円、有価証券が1,037百万円それぞれ減少したことなどによります。

負債総額は前連結会計年度末に比べ3,848百万円減少し、50,340百万円となりました。流動負債のその他が866百万円、未払金が479百万円それぞれ増加したものの、短期借入金が2,062百万円、支払手形及び買掛金が1,335百万円、未払法人税等が977百万円それぞれ減少したことなどによります。

純資産は前連結会計年度末に比べ1,817百万円増加し、92,277百万円となりました。利益剰余金が1,734百万円増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2,701百万円増加し、38,469百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払があったものの、売上債権の回収や税金等調整前四半期純利益の計上などにより、9,533百万円のプラス（前年同期は3,725百万円のプラス）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得や有価証券の取得などにより、3,131百万円のマイナス（前年同期は3,453百万円のマイナス）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少や配当金の支払などにより、3,778百万円のマイナス（前年同期は528百万円のプラス）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

最近の収益動向を勘案し、平成24年12月期通期連結業績予想を、以下のとおり修正いたします。

通期連結業績予想

（単位：百万円）

	前回予想 （5月9日時点）	今回予想 （8月6日時点）	差額
売上高	125,500	120,000	△5,500
営業利益	13,500	12,000	△1,500
経常利益	12,700	11,300	△1,400
当期純利益	8,000	7,000	△1,000

セグメント別通期連結業績予想

売上高

（単位：百万円）

営業利益

（単位：百万円）

	売上高			営業利益			
	前回予想 （5月9日 時点）	今回予想 （8月6日 時点）	差額	前回予想 （5月9日 時点）	今回予想 （8月6日 時点）	差額	
自動車	42,500	43,000	500	自動車	2,500	2,700	200
環境	14,000	13,500	△500	環境	1,900	1,700	△200
医用	24,000	22,500	△1,500	医用	3,500	3,000	△500
半導体	23,500	20,500	△3,000	半導体	4,000	3,300	△700
科学	21,500	20,500	△1,000	科学	1,600	1,300	△300
合計	125,500	120,000	△5,500	合計	13,500	12,000	△1,500

通期の連結業績予想につきましては、国内外の需要動向を勘案し、自動車計測システム機器部門において上方修正いたしました。一方、半導体システム機器部門においては、半導体産業の設備投資減少の影響を勘案し下方修正いたしました。医用システム機器部門や科学システム機器部門においても為替動向などを勘案し、前回発表予想から下方修正いたしました。その結果、売上高を5,500百万円、営業利益を1,500百万円下方修正いたしました。営業減益により、経常利益を1,400百万円、当期純利益を1,000百万円、それぞれ下方修正いたしました。

通期個別業績予想

(単位：百万円)

	前回予想 (5月9日時点)	今回予想 (8月6日時点)	差額
売上高	53,500	53,500	-
営業利益	4,500	4,200	△300
経常利益	6,200	6,200	-
当期純利益	4,500	4,500	-

通期の個別業績予想につきましては、自動車計測システム機器部門において販売増を予想するものの、収益性の悪化を予想しています。一方、半導体システム機器部門を除くその他の事業部門においては当初予想を下回ると予想しています。これらを勘案した結果、売上高については前回予想を据え置き、営業利益については300百万円下方修正いたしました。経常利益や当期純利益については、営業外損益戻の改善が見込めることなどから、変更はありません。

なお、当期の配当予想につきましては、変更はありません。

※業績予想につきましては平成24年8月6日現在のデータに基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は、これらの予想数値と異なる場合があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

<p>事業に関するリスク</p> <p>為替相場の変動を含む国際的活動に伴う諸リスク、買収や提携に伴う業績や財政状態の変化リスク、自然災害による設備の破損とそれに伴う納期遅延等リスク、契約や取引に関するリスク、各種法規制等</p>
<p>開発・製造に関するリスク</p> <p>製造物責任によるリスク、新製品開発の遅延リスク、知的財産権に関するリスク、原材料調達リスク（量の確保、価格変動）</p>
<p>財務に関するリスク</p> <p>保有有価証券やその他資産の時価の変動、制度変更や会計上の方針変更に伴う繰延税金資産の取り崩しなどの発生</p>

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

従来、当社及び国内連結子会社3社の建物以外の有形固定資産の減価償却方法は定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より海外連結子会社が採用している定額法に変更いたしました。

この変更は、主に次の2つの理由により当社グループの会計処理の統一と期間損益の適正化を図るために実施したものであります。①平成23年を起点とする中長期経営計画において、グローバル経営をさらに深化させるため、“One Company 経営”の発展と完成を重点施策として挙げており、その中で海外連結子会社を含めた統一的な業績評価システムが必要となっていること、②当社における有形固定資産の使用実態に関する調査結果及び中長期経営計画で予定されている今後の事業展開を鑑み、定額法を採用したほうが使用実態とより整合した費用配分を行えるものと判断したこと。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の減価償却費は207百万円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ207百万円増加しております。

（有形固定資産の残存価額に対する見積りの変更）

当社及び国内連結子会社3社は、有形固定資産の減価償却方法の変更を契機として、有形固定資産の残存価額について見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より使用実態に基づき備忘価額（1円）まで償却する方法に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の減価償却費は158百万円増加し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ158百万円減少しております。

（表示方法の変更）

従来、当社及び一部の連結子会社は運賃及び発送諸費について販売費及び一般管理費として表示しておりましたが、第1四半期連結会計期間より売上原価として表示する方法に変更いたしました。

この変更は、主に次の2つの理由により実施したものであります。①平成23年を起点とする中長期経営計画において、グローバル経営をさらに深化させるため、“One Company 経営”の発展と完成を重点施策として挙げており、その中で海外連結子会社を含めた統一的な業績評価システムが必要となっていること、②グローバル化による国際輸送の増加及び燃料コストの増加により、コストに占める運賃及び発送諸費の比率が増加しており、運賃及び発送諸費を売上原価に含め売上高に直接的に対応させる方が、売上総利益をより適正に表示することになると判断したこと。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「売上原価」及び「販売費及び一般管理費」として表示されていた金額はそれぞれ33,173百万円、20,032百万円でしたが、当該変更により、「売上原価」34,358百万円、「販売費及び一般管理費」18,847百万円として組み替えております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,893	33,380
受取手形及び売掛金	39,375	31,455
有価証券	8,350	7,313
商品及び製品	9,015	9,304
仕掛品	9,127	10,276
原材料及び貯蔵品	8,144	8,276
繰延税金資産	3,201	2,984
その他	2,896	2,563
貸倒引当金	△750	△713
流動資産合計	108,255	104,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,156	9,156
機械装置及び運搬具（純額）	2,945	2,787
土地	7,362	7,801
建設仮勘定	2,130	2,172
その他（純額）	2,328	2,504
有形固定資産合計	22,924	24,422
無形固定資産		
のれん	201	362
ソフトウェア	4,182	3,863
その他	256	359
無形固定資産合計	4,640	4,586
投資その他の資産		
投資有価証券	3,514	3,718
繰延税金資産	2,115	2,136
その他	3,240	2,993
貸倒引当金	△40	△79
投資その他の資産合計	8,829	8,768
固定資産合計	36,394	37,777
資産合計	144,649	142,617

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,196	11,861
短期借入金	6,684	4,622
未払金	7,805	8,284
未払法人税等	2,459	1,482
繰延税金負債	18	4
賞与引当金	755	376
役員賞与引当金	84	267
製品保証引当金	1,308	1,243
事業構造改善引当金	174	13
その他	6,085	6,951
流動負債合計	38,574	35,108
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	1,291	945
繰延税金負債	108	128
退職給付引当金	1,775	1,852
役員退職慰労引当金	221	183
損害補償損失引当金	616	528
その他	1,600	1,593
固定負債合計	15,615	15,231
負債合計	54,189	50,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,011	12,011
資本剰余金	18,717	18,717
利益剰余金	66,278	68,013
自己株式	△788	△780
株主資本合計	96,219	97,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	717	839
為替換算調整勘定	△6,703	△6,808
その他の包括利益累計額合計	△5,986	△5,969
新株予約権	186	245
少数株主持分	40	39
純資産合計	90,460	92,277
負債純資産合計	144,649	142,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	60,031	56,955
売上原価	34,358	32,874
売上総利益	25,673	24,080
販売費及び一般管理費	18,847	18,772
営業利益	6,825	5,307
営業外収益		
受取利息	50	101
受取配当金	47	47
雑収入	155	156
営業外収益合計	253	305
営業外費用		
支払利息	221	247
為替差損	31	216
雑損失	20	70
営業外費用合計	273	534
経常利益	6,805	5,079
特別利益		
固定資産売却益	5	20
債務保証損失引当金戻入額	67	—
損害補償損失引当金戻入額	—	44
その他	4	—
特別利益合計	76	64
特別損失		
固定資産売却損	4	0
固定資産除却損	14	13
減損損失	85	83
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	53	1
事業構造改善引当金繰入額	284	—
その他	2	—
特別損失合計	445	99
税金等調整前四半期純利益	6,436	5,044
法人税、住民税及び事業税	2,270	1,887
法人税等調整額	△111	106
法人税等合計	2,158	1,994
少数株主損益調整前四半期純利益	4,277	3,049
少数株主利益	0	0
四半期純利益	4,277	3,049

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,277	3,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105	121
為替換算調整勘定	1,001	△103
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	896	17
四半期包括利益	5,174	3,067
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,173	3,066
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,436	5,044
減価償却費	1,999	1,827
減損損失	85	83
のれん償却額	16	39
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12	21
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	280	△164
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4	84
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△36	△37
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△67	—
損害補償損失引当金の増減額 (△は減少)	△10	△88
受取利息及び受取配当金	△97	△149
支払利息	221	247
為替差損益 (△は益)	△1	△10
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△20
固定資産除却損	14	13
投資有価証券評価損益 (△は益)	53	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,111	7,827
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,112	△1,693
仕入債務の増減額 (△は減少)	734	△1,076
その他	△743	697
小計	7,877	12,647
利息及び配当金の受取額	91	141
利息の支払額	△241	△253
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,001	△3,002
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,725	9,533
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△522	△1,158
定期預金の払戻による収入	1	918
拘束性預金の払戻による収入	32	32
有価証券の取得による支出	△905	△1,705
有価証券の売却による収入	101	1,204
有形固定資産の取得による支出	△1,933	△2,267
有形固定資産の売却による収入	14	36
無形固定資産の取得による支出	△96	△305
投資有価証券の取得による支出	△27	△36
投資有価証券の売却及び償還による収入	11	6
子会社株式の取得による支出	△46	△18
貸付けによる支出	△78	△14

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
貸付金の回収による収入	17	73
その他	△23	101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,453	△3,131
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,281	△2,265
長期借入れによる収入	104	256
長期借入金の返済による支出	△350	△395
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△76	△65
少数株主からの払込みによる収入	41	—
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	0
配当金の支払額	△465	△1,308
少数株主への配当金の支払額	△6	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	528	△3,778
現金及び現金同等物に係る換算差額	369	77
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,169	2,701
現金及び現金同等物の期首残高	34,459	35,767
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,628	38,469

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自動車計測 システム 機器	環境・ プロセス システム機器	医用 システム 機器	半導体 システム 機器	科学 システム 機器		
売上高							
外部顧客への売上 高	17,112	6,264	11,994	14,457	10,202	—	60,031
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—
計	17,112	6,264	11,994	14,457	10,202	—	60,031
セグメント利益	816	659	1,824	3,295	229	—	6,825

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社及び当社の一部の連結子会社の支店・営業所の移転に伴い一部設備の処分が決定したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「自動車計測システム機器」セグメントにおいて30百万円、「環境・プロセスシステム機器」セグメントにおいて12百万円、「医用システム機器」セグメントにおいて8百万円、「半導体システム機器」セグメントにおいて2百万円及び「科学システム機器」セグメントにおいて14百万円、それぞれ減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において67百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成24年1月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自動車計測 システム 機器	環境・ プロセス システム機器	医用 システム 機器	半導体 システム 機器	科学 システム 機器		
売上高							
外部顧客への売上 高	18,575	7,108	11,041	10,415	9,813	—	56,955
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—
計	18,575	7,108	11,041	10,415	9,813	—	56,955
セグメント利益	734	1,021	1,399	1,934	218	—	5,307

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医用システム機器」セグメントにおいて、当社の連結子会社であるホリバABX社（フランス）の設備につき一部廃棄処分が決定したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において74百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「半導体システム機器」セグメントにおいて、当社の連結子会社である北京ホリバメトロン社（中国）が北京匯博隆儀器有限公司との間で営業資産譲渡に係る契約を締結した際、のれんを計上しております。なお、当該のれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において195百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社及び国内連結子会社3社の建物以外の有形固定資産の減価償却方法は定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より海外連結子会社が採用している定額法に変更いたしました。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、「自動車計測システム機器」セグメントで74百万円、「環境・プロセスシステム機器」セグメントで29百万円、「医用システム機器」セグメントで12百万円、「半導体システム機器」セグメントで70百万円、「科学システム機器」セグメントで20百万円、それぞれ増加しております。

(有形固定資産の残存価額に対する見積りの変更)

当社及び国内連結子会社3社は、有形固定資産の減価償却方法の変更を契機として、有形固定資産の残存価額について見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より使用実態に基づき備忘価額（1円）まで償却する方法に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、「自動車計測システム機器」セグメントで50百万円、「環境・プロセスシステム機器」セグメントで20百万円、「医用システム機器」セグメントで8百万円、「半導体システム機器」セグメントで63百万円、「科学システム機器」セグメントで14百万円、それぞれ減少しております。

4. 補足情報

平成24年12月期 第2四半期 決算概要

連 結

1. 連結決算業績

単位：百万円

	24/12実績		23/12実績		対前年同期増減		24/12予想		23/12実績		対前期増減	
	上期	上期	金額	率	通期	通期	金額	率	通期	通期	金額	率
売上	56,955	60,031	△3,076	△5.1%	120,000	123,456	△3,456	△2.8%				
営業利益	5,307	6,825	△1,518	△22.2%	12,000	14,906	△2,906	△19.5%				
営業利益率	9.3%	11.4%	△2.1P		10.0%	12.1%	△2.1P					
経常利益	5,079	6,805	△1,726	△25.4%	11,300	14,611	△3,311	△22.7%				
経常利益率	8.9%	11.3%	△2.4P		9.4%	11.8%	△2.4P					
当期純利益	3,049	4,277	△1,227	△28.7%	7,000	8,664	△1,664	△19.2%				
当期純利益率	5.4%	7.1%	△1.7P		5.8%	7.0%	△1.2P					
US\$	79.77	82.01	△2.24		80.00	79.80	+0.20					
Euro	103.48	115.04	△11.56		100.00	111.13	△11.13					

2. 連結セグメント別業績

単位：百万円

	24/12実績		23/12実績		対前年同期増減		24/12予想		23/12実績		対前期増減	
	上期	上期	金額	率	通期	通期	金額	率	通期	通期	金額	率
自動車	18,575	17,112	+1,462	+8.5%	43,000	38,678	+4,321	+11.2%				
環境・プロセス	7,108	6,264	+843	+13.5%	13,500	14,558	△1,058	△7.3%				
医用	11,041	11,994	△953	△7.9%	22,500	23,485	△985	△4.2%				
半導体	10,415	14,457	△4,041	△28.0%	20,500	24,694	△4,194	△17.0%				
科学	9,813	10,202	△388	△3.8%	20,500	22,040	△1,540	△7.0%				
Total	56,955	60,031	△3,076	△5.1%	120,000	123,456	△3,456	△2.8%				
営業利益	5,307	6,825	△1,518	△22.2%	12,000	14,906	△2,906	△19.5%				
自動車	734	816	△82	△10.1%	2,700	2,834	△134	△4.8%				
環境・プロセス	1,021	659	+361	+54.8%	1,700	2,532	△832	△32.9%				
医用	1,399	1,824	△425	△23.3%	3,000	3,166	△166	△5.3%				
半導体	1,934	3,295	△1,360	△41.3%	3,300	4,939	△1,639	△33.2%				
科学	218	229	△11	△5.1%	1,300	1,433	△133	△9.3%				
Total	5,307	6,825	△1,518	△22.2%	12,000	14,906	△2,906	△19.5%				

3. 連結[仕向地別]セグメント別売上

単位:百万円

	24/12実績		23/12実績		対前年同期増減		24/12予想		23/12実績		対前期増減	
	上期	上期	金額	率	通期	通期	金額	率	通期	通期	金額	率
自動車	18,575	17,112	+1,462	+8.5%	43,000	38,678	+4,321	+11.2%				
日本	8,233	7,090	+1,142	+16.1%	15,900	14,672	+1,227	+8.4%				
アジア	3,961	2,993	+968	+32.4%	11,200	7,379	+3,820	+51.8%				
アメリカ	2,231	2,035	+196	+9.6%	5,100	4,989	+110	+2.2%				
欧州	4,148	4,992	△844	△16.9%	10,800	11,636	△836	△7.2%				
環境・プロセス	7,108	6,264	+843	+13.5%	13,500	14,558	△1,058	△7.3%				
日本	5,023	4,234	+789	+18.6%	9,500	10,447	△947	△9.1%				
アジア	771	784	△12	△1.6%	1,700	1,643	+56	+3.4%				
アメリカ	543	407	+136	+33.4%	800	809	△9	△1.2%				
欧州	769	838	△68	△8.2%	1,500	1,657	△157	△9.5%				
医用	11,041	11,994	△953	△7.9%	22,500	23,485	△985	△4.2%				
日本	2,646	2,699	△52	△1.9%	5,600	5,435	+164	+3.0%				
アジア	1,368	1,223	+145	+11.9%	3,100	2,704	+395	+14.6%				
アメリカ	2,651	3,196	△544	△17.0%	5,200	6,019	△819	△13.6%				
欧州	4,375	4,875	△500	△10.3%	8,600	9,326	△726	△7.8%				
半導体	10,415	14,457	△4,041	△28.0%	20,500	24,694	△4,194	△17.0%				
日本	5,357	6,049	△692	△11.4%	11,000	11,244	△244	△2.2%				
アジア	3,087	3,394	△306	△9.0%	5,500	5,998	△498	△8.3%				
アメリカ	1,363	2,241	△877	△39.1%	2,800	3,656	△856	△23.4%				
欧州	607	2,772	△2,164	△78.1%	1,200	3,795	△2,595	△68.4%				
科 学	9,813	10,202	△388	△3.8%	20,500	22,040	△1,540	△7.0%				
日本	3,666	3,717	△51	△1.4%	7,500	7,186	+313	+4.4%				
アジア	1,966	2,076	△109	△5.3%	3,800	4,567	△767	△16.8%				
アメリカ	1,813	1,973	△160	△8.1%	4,100	4,493	△393	△8.8%				
欧州	2,367	2,435	△67	△2.8%	5,100	5,791	△691	△11.9%				
合 計	56,955	60,031	△3,076	△5.1%	120,000	123,456	△3,456	△2.8%				
日本	24,927	23,791	+1,135	+4.8%	49,500	48,986	+513	+1.0%				
アジア	11,155	10,470	+684	+6.5%	25,300	22,293	+3,006	+13.5%				
アメリカ	8,604	9,854	△1,249	△12.7%	18,000	19,969	△1,969	△9.9%				
欧州	12,267	15,914	△3,647	△22.9%	27,200	32,207	△5,007	△15.5%				

4. 資本的支出・減価償却費・研究開発費

単位:百万円

	24/12		23/12	
	上期実績	通期予想	上期実績	通期実績
資本的支出※	3,364	6,500	1,677	4,670
減価償却費	1,867	4,500	2,016	4,146
研究開発費	5,039	10,000	4,828	10,060

※ 有形固定資産及び無形固定資産への投資額であります。

5. 連結決算業績(四半期比較)

単位:百万円

	24/12			23/12実績			
	1Q実績	2Q実績	下期予想	1Q	2Q	3Q	4Q
売上	29,522	27,432	63,044	29,308	30,723	27,614	35,810
営業利益	3,627	1,680	6,692	3,108	3,689	2,880	5,200
営業利益率	12.3%	6.1%	10.6%	10.6%	12.0%	10.4%	14.5%
経常利益	3,555	1,523	6,220	3,077	3,696	2,604	5,201
経常利益率	12.0%	5.6%	9.9%	10.5%	12.0%	9.4%	14.5%
四半期純利益	2,141	908	3,950	2,157	2,120	1,616	2,771
四半期純利益率	7.3%	3.3%	6.3%	7.4%	6.9%	5.9%	7.7%
US\$	79.35	80.19	80.23	82.31	81.71	77.75	77.43
Euro	104.14	102.82	96.52	112.66	117.42	110.09	104.35

6. 連結セグメント別業績(四半期比較)

単位:百万円

	24/12			23/12実績			
	1Q実績	2Q実績	下期予想	1Q	2Q	3Q	4Q
売上							
自動車	9,185	9,390	24,424	8,268	8,844	7,133	14,431
環境・プロセス	4,106	3,002	6,391	2,917	3,346	3,810	4,483
医用	5,543	5,497	11,458	5,774	6,220	5,746	5,744
半導体	5,508	4,907	10,084	6,971	7,485	5,588	4,649
科学	5,178	4,635	10,686	5,376	4,826	5,336	6,501
Total	29,522	27,432	63,044	29,308	30,723	27,614	35,810

	24/12			23/12実績			
	1Q実績	2Q実績	下期予想	1Q	2Q	3Q	4Q
営業利益							
自動車	562	171	1,965	357	450	120	1,897
環境・プロセス	893	128	678	246	409	813	1,059
医用	746	652	1,600	795	1,024	675	667
半導体	1,210	724	1,365	1,520	1,767	932	711
科学	215	2	1,081	188	37	338	865
Total	3,627	1,680	6,692	3,108	3,689	2,880	5,200

7. 連結セグメント別受注・受注残状況(四半期比較)

単位:百万円

	24/12			23/12実績			
	1Q実績	2Q実績	下期予想	1Q	2Q	3Q	4Q
受注							
自動車	12,348	10,148	-	11,391	10,822	8,366	13,083
環境・プロセス	3,933	3,211	-	2,891	4,088	3,731	4,085
医用	6,031	5,299	-	6,449	6,150	5,522	5,641
半導体	5,372	4,532	-	7,502	7,377	4,466	4,965
科学	5,502	4,526	-	6,195	4,733	5,082	5,734
Total	33,188	27,718	-	34,430	33,172	27,169	33,509

	24/12			23/12実績			
	1Q実績	2Q実績	下期予想	1Q	2Q	3Q	4Q
受注残							
自動車	27,755	28,512	-	22,728	24,707	25,940	24,591
環境・プロセス	2,525	2,734	-	2,433	3,174	3,095	2,697
医用	2,562	2,364	-	2,471	2,402	2,178	2,075
半導体	1,597	1,223	-	2,648	2,539	1,418	1,733
科学	5,603	5,495	-	6,393	6,300	6,047	5,279
Total	40,043	40,330	-	36,675	39,123	38,679	36,377

個別
個別決算業績

単位:百万円

	24/12実績		23/12実績		対前年同期増減		24/12予想		23/12実績		対前期増減	
	上期	上期	金額	率	通期	通期	金額	率				
売上	27,045	24,591	+2,453	+10.0%	53,500	51,902	+1,597	+3.1%				
営業利益	2,656	2,256	+400	+17.7%	4,200	5,651	△1,451	△25.7%				
営業利益率	9.8%	9.2%	+0.6P		7.9%	10.9%	△3.0P					
経常利益	4,905	4,653	+251	+5.4%	6,200	8,278	△2,078	△25.1%				
経常利益率	18.1%	18.9%	△0.8P		11.6%	15.9%	△4.3P					
当期純利益	4,013	3,773	+239	+6.3%	4,500	5,541	△1,041	△18.8%				
当期純利益率	14.8%	15.3%	△0.5P		8.4%	10.7%	△2.3P					

IR窓口

株式会社 堀場製作所 経営戦略本部 上杉 英太

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 TEL 075-325-5003 (直通) E-mail eita.uesugi@horiba.com